

2009 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	教育文化	学科
担当科目	文化と人間形成		

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

●仕事内容

毎回授業に出席し、T Aとも協力しながら授業がスムーズに進むよう授業運営の手伝いを中心に行いました。

●感想・気付いたこと

秋学期の途中からチューターとして授業に参加しました。大学入学が間もない1回生が中心の授業に参加することは、とても新鮮で私自身も入学した時を思い出させられるなど、新たな気持ちにさせられることが多いなと感じた半年間でした。チューターとして授業に上回生が参加することで、1回生の学生にとってもなんらかの刺激があるのではないかと思います。そのため、チューターを務めるにあたって、仕事をきちんとすることはもちろんですが、自分自身が良いお手本となること（例えば、授業を受ける姿勢など）を心がけていました。実際にどのような影響があったかはわかりませんが、何か少しでも刺激となっていたのなら幸いです。

●その他

学生たちの間にどの程度チューター制度が浸透しているのかわかりませんが、チューターについて知っているのかなという疑問がありました。T Aとの違いや線引きがわかりにくいのではないかと思います。

<今後のチューターまたは先生への提案>

今回は、途中から参加したのでタイミングがなかったというのがありますが、全体の場にて軽い自己紹介ができたならより良いと思います。またチューターに対してどのようなことが求められているのかといったシェアリングの時間などがあれば、先生の要望などもわかりやすいと思います。（チューターリングのシステムはありますが）